

江別第一中学校 学校だより

純誠



教育目標

- ・自ら進んで学び未来を創造する生徒
- ・豊かな心を持ち互いに協力して生活を高める生徒
- ・強い意志と体力を持ち、進んで努力する生徒

令和2年 11月30日 特別号

標準学力検査、全国学力・学習状況調査の結果！！

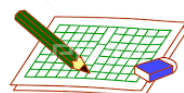
例年4月に実施していた標準学力調査「NRT」（全学年実施）と全国学力・学習状況調査（第3学年実施）を、今年度は感染症拡大防止のため時期をずらして実施しました。学校として、調査の分析作業が一通り終了しましたので、各教科・生徒質問紙の結果概要及び今後の主な学校の取り組みについてお知らせいたします。

標準学力検査「NRT」（全学年実施）

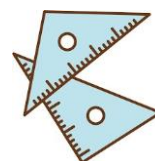
- ・1年生は、社会科の「社会的事象についての知識・理解」、理科の「科学的な思考・表現」と「観察・実験の技能」の観点で全国比を下回っています。その他の観点については、全国比と同等かそれより高い傾向にあります。特に、国語科の「話す・聞く能力」の観点が良好です。
- ・2年生は、社会科のすべての観点、数学科の「数学的な見方や考え方」と「数学的な技能」、理科の「自然事象についての知識・理解」の観点で全国比を下回っています。その他の観点については、全国比と同等かそれより高い傾向にあります。特に、国語科の「言語についての知識・理解・技能」の観点が良好です。
- ・3年生は、数学科のすべての観点、社会科の「資料活用の技能」、国語科の「話す・聞く能力」の観点で全国比を下回っています。その他の観点については、全国比と同等かそれより高い傾向にあります。特に、国語科の「言語についての知識・理解・技能」の観点が良好です。

全国学力・学習状況調査「国語・数学」（第3学年実施）

全国学力・学習状況調査の平均正答率では、昨年度と比べて、国語がやや上回っていて、数学がやや下回っています。領域別では以下の結果が得られました。



- ・国語では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、「話すこと・聞くこと」が上回っていて、「読むこと」、「書くこと」は同様です。
- ・数学では、「数と式」、「関数」がやや上回っていて、「資料の活用」、「図形」がやや下回っています。



*3年生には、個人ごとの結果をまとめた用紙を配布済みです。今年度は自己採点結果のみとなっておりますが、今後の学習にご活用ください。

生徒質問紙の結果（第3学年実施）

全国学力・学習状況調査の「生徒質問紙」から、生活習慣と学習意欲について、昨年度と比べて以下の結果が得られました。

- 学習に対する興味・関心等では、「英語は好きですか」が上回っていて、そのほかの項目は、下回っています。
- 規範意識・自己有用感では、ほぼすべての項目で上回っています。
- 生活習慣・学習習慣では、「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」、「家の人と学校での出来事について話をしますか」がやや上回っていて、そのほかの項目は下回っています。
- 「1. 2年生の時に受けた授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか」、「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べた事を発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか」で、かなり上回っています。

調査結果を踏まえた今後の主な学校のとりくみ

〔1〕生徒個々の学習状況の把握と効果的な指導の充実

- 全国学力・学習状況調査や標準学力検査の結果を各教科で分析し、現状と課題を把握して改善策を指導計画に反映させ、授業改善を進めます。
- 校内研究・教科部会の一層の充実を図り、主体的・対話的で深い学びにつながる授業改善を進め、「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」の必要な資質・能力を育みます。
- ICT機器を効果的に活用し、学習意欲や学力の向上をより一層進めます。

〔2〕基礎的な学習能力を身に付けさせる方策の推進

- TT指導、少人数指導、習熟度別指導の工夫改善を図ります。（実施方法や時期・単元の焦点化等）
- 長期休業中や放課後の学習支援体制の充実を図ります。
- 授業内容のより一層の定着を図るため、1時間の学習の流れや板書等の工夫を図ります。

〔3〕日常的な学習習慣・生活習慣の定着の推進

- 生徒が見通しを持って予習・復習に取り組めるように、授業の流れを工夫するとともに、教科担任が家庭学習に向けたアドバイスや提出された学習内容の添削等を行うことで、家庭での学習習慣の確立を図ります。
- 家庭との連携を図り、必要な情報を発信し、学習・運動・生活習慣の改善について協力を求めます。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各種テストの実施時期や分析方法も例年と違っています。11月に行われた「学力テスト」（全学年実施）の結果なども考慮して、生徒一人ひとりの学習の定着状況を判断していく必要があります。二者・三者懇談等を活用して、生徒本人・保護者の皆様と相談していきたいと考えます。よろしくお願いいたします。